

## 21番 西菌 美恵子 議員

## 1 高齢者福祉における成年後見人制度について

- (1) 認知症や知的障がい、あるいは精神障がい等により判断能力が不十分な方の財産管理や生活を、後見人を立て法的に支援する制度として「成年後見人制度」がある。本市の支援体制及び「権利擁護推進センター」の利用状況と課題について示されたい。
- (2) 身寄りのない高齢者等を対象に、市町村が成年後見の開始を家庭裁判所に求める「首長申し立て」が全国的に増加していると聞かすが、本市の実態と留意点は何か示されたい。
- (3) 権利擁護の相談需要の増加を想定し、本市では早くから「市民後見人養成講座」が開催されているが、取組と課題はどうか示されたい。

## 2 「ひきこもり者支援」について

- (1) ひきこもり相談は県内で増加傾向にあり、全国の平均年齢も4.2歳上昇している。本市の実情はどうか示されたい。
- (2) 不登校からひきこもりにつながっていく場合があるとされるが、本市では重層的支援が始まっており、教育と福祉の連携が期待される。現状と課題を示されたい。
- (3) 「生活困窮者自立支援制度」もひきこもりの方にとって、社会に出るきっかけの一つになると考えられるが、どのような手続きを経て進み、現状はどうか示されたい。
- (4) 我が国では「8050問題」が顕著化して久しいが、本市の実態と取組について示されたい。